



富士吉田キューピー株式会社 株式会社はくばくへの一部株式譲渡による合併化に移行

— キューピー株式会社 —

キューピー株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役 社長執行役員：長南 収、以下キューピー）は、同社が保有する富士吉田キューピー株式会社（本社：山梨県富士吉田市、代表取締役社長：滝澤 徹、以下富士吉田キューピー）の株式の49%を、株式会社はくばく（本社：山梨県中央市、代表取締役社長：長澤 重俊、以下はくばく）に2019年6月譲渡しました。これにより、富士吉田キューピーは、はくばくとの合併会社になりました。

富士吉田キューピーは2006年に設立し、良質な水が得られる生産拠点として、おかゆやマヨネーズ、2017年からは育児食を製造しています。生産量を拡大する中で、さらなる競争力強化について検討を進めてまいりました。

はくばくは、山梨県に本社を構え、精麦などを主力事業とし、近年のもち麦ブームをけん引しています。国内大麦市場のさらなる拡大のため、山梨県内での生産能力の増強を検討していました。

今回のはくばくとの合併会社化によって、富士吉田キューピーのさらなる成長発展が見込めると考えております。

今後は、当社商品に加えて、はくばく商品の製造受託事業も強化してまいります。

【富士吉田キューピー および はくばくの概要】

会社名	富士吉田キューピー株式会社	株式会社はくばく
設立	2006年1月	1941年4月
本社	山梨県富士吉田市	山梨県中央市
事業内容	各種調味料、各種調理食品の製造販売	精麦、精米、製粉、製麺、その他各種食料品、飼料の製造加工
売上高	763百万円（2019年11月期）	21,865百万円（2019年3月期）